

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8284
担当部課名	学校教育部	指導	課	企画研修
事務事業名	児童生徒指導推進事業		事業コード	14120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	人間性豊かな子どもを育成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	ゆとりある学校教育の創造	~63 年度
施策名	第2施策	小・中学校教育の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
教師と児童・生徒相互の人的ふれあいを深め、児童・生徒理解に努め、一人ひとりの人権を尊重するための適切な指導・援助活動を実施し、児童・生徒の全人的発達を図る。	相模原市立小・中学生
	対象数 5万人

(3) 平成13年度事業の内容	(4) 総合計画・実施計画における概要
児童・生徒指導推進事業実践集録 100冊 中学校区児童・生徒指導推進事業委託 27校区	
	(5) 個別計画の概要
	計画名
	計画年次 年度~ 年度

4 評価指標

指標名	集録作成配付の実施	事業委託率
指標式	集録作成実績 ÷ 集録作成予定	事業委託実績 ÷ 事業委託予定
指標設定の意図	集録作成の有無	事業委託の有無

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100	100	a 100	b 100	100	
指標	100	100	c 100	d 100	100	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	4,930	4,354	4,344	4,358	3,625
	人員・時間数	1	1	1	1	1
	人件費	8,420	8,420	8,420	8,420	8,420
	その他経費					
	合計	13,350	12,774	12,764	12,778	12,045
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価	A : 達成している (100%) B : 一部達成していない(100%> 80%) C : 達成していない (80%>)	= 、 、 の平均値 = 100.0%
	$\frac{a}{b} \times 100 = \frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 = \frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$
理由 :	毎年度予定された事業は、全て実施されている。	
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価	A : 適応している B : 一部適応していない C : 適応していない	理由 : 児童・生徒指導について、地域を含めた学校間での情報交換とその対策の協議等、その時々にあった対応を図ることが可能である。
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価	A : 妥当である B : 一部妥当でない C : 妥当でない	理由 : 児童・生徒指導について、地域を含めた学校間での情報交換とその対策の協議等は大きな意義があり、そのための費用効果は、妥当である。
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価	A : 代替の可能性ない B : 代替の可能性低い C : 代替の可能性高い	理由 : 児童・生徒の指導は、国、県、市教育委員会が積極的に研究推進するとともに学校の支援を図る必要がある。
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価	A : 満足できる B : 一部満足できない C : 満足できない	理由 : 事業の成果がすぐに現れるものではなく、数値的には表し難い。
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価	A : 有効である B : 一部有効である C : 有効でない	理由 : 児童・生徒指導について、研究推進し、実行していくことは「人間性豊かな子どもの育成」に直接繋がるものである。

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 当該事業のみが児童・生徒指導の諸問題を解決するものではなく、あらゆる関係機関や地域・家庭が個々に、また必要に応じて連携を図り推進する必要がある。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 集録は数量・経費ともに最小に抑えている。事業委託についても、実際に児童・生徒を抱える学校現場に研究推進してもらうことが必要である。</p>

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	当該事業は必要な事業でもあり、その成果についても充分ある。児童・生徒の全人的発達を図るために直接学校で指導にあたる教師に対して、支援していくわけであるが、その方法については、当該事業を進めながらも更に有効な手段については、研究していかなければならない。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--